

ヒメクワシロカイガラムシ

ウメシロカイガラムシ

サクラなど広葉樹の幹や枝につく小さな白いカイガラムシ。長さ約1mmで細長く白い、または径2mm内外の扁平な円形で白～薄茶色。両種は外観では区別できない。

ヒメクワシロカイガラムシは公園のサクラで枝や幹が真っ白になるくらい多発することがある。ウメシロカイガラムシはヤナギ、サクラ、ウメ、モモ、ライラックなどにつき、本州ではしばしば多発するとされる。



1～2. 発生状況。2001/10/30. 余市町, 庭のサクラ.

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

ヒメクワシロカイガラムシ

【学名】 *Pseudaulacaspis simplex*

【分布】 北海道, 本州.

【宿主】 サクラ, アオハダ. 北海道でサクラに多発するのはヒメクワシロカイガラムシといわれている.

ウメシロカイガラムシ

【学名】 *Pseudaulacaspis prunicola*

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州.

【宿主】 ヤナギ, サクラ, ウメ, スモモ, アンズ, モモ, ライラック.

【特徴】

近似種としてアオキシロカイガラムシが北海道にいる。アオキシロカイガラムシは幹や枝の他に葉にも寄生し、雌成虫は洋梨形に近い。主にイチイや室内の観葉植物に発生する。

【生態】

幹や枝につき、雌成虫で越冬する。春から秋まで世代を繰り返しながら、吸汁加害する。道内での年間の世代数は不明。

【文献】

1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除の解説)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主の解説)

1994. 河合省三. ウメシロカイガラムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 431. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヒメクワシロカイガラムシ [kaigara/himekuwa/
kaisetu.htm](http://kaigara/himekuwa/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.

1musi1.jpg, 1musi2.jpg

「写真1～2」 野中道春, 北後志地区林業指導事務所, 2001.